

学びの機会 幅広く

単位制で 昼夜定時制高校を視察

知 県 議 団
愛 知 県

単位制で
は県内初

公明党愛知県議団(小島
丈幸^{さけゆき}団長)はこのほど、名
古屋市に今年度開校した県
立城北つばさ高校(金子悟
校長)を訪れ、現状や課題
を聞いた。同校は県内の県
立高校では初めて、昼・夜
の定時制課程を単位制で行
っている。

党県議団は、犬飼^{いぬかほ}明佳議
員が2012年10月の委員
会で昼間定時制高校につい
て取り上げ、昼間定時制が、
不登校や経済的な理由によ
り高校で学ぶ機会を失った
生徒の受け皿になっている
ことや、数が不足している
ことを指摘。県内で5校目
となる昼間定時制の新設を
提案し、来年度開校する県
立愛知工業高校の校舎・設
備を活用して低コストで早

期に開くよう求めるなど推
進してきた。

城北つばさ高校の昼間部
は普通科で、夜間部はもの
づくり科。単位制なので、
学ぶ時間や内容を自分で選
べる。両科共通の選択科目
を設けることで夜間の生徒
が昼の授業を受けることが
でき、条件を満たせばアル
バイトも単位認定される。

金子校長は「中学時代に
不登校で成績の低かった生
徒が、一日も欠かさず登校
し、試験でも高得点を取っ
ている」と話し、同校への
進学が再チャレンジのきっ
かけになっていると説明。
また、党県議団と校長は施
設の充実や教職員を増やす
必要性などについて意見を
交わした。



城北つばさ高校を視察する党愛知県議団(左から6人)

小島団長は視察後、「子どもたちの可能性を開くため、学習歴がさまざま異なった生徒に対応する学校の拡充を今後も後押ししていく」と語っていた。